

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4291500041		
法人名	合同会社光		
事業所名	合同会社光 グループホーム輝		
所在地	〒859-6145 長崎県北松浦郡鹿町町土肥ノ浦免21番地7		
自己評価作成日	平成21年11月14日	評価結果市町村受理日	平成22年1月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://ngs-kaigo-kohyo.jp/index.html">http://ngs-kaigo-kohyo.jp/index.html</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成21年12月7日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家族な環境のなかで楽しく1日を過ごしてもらえるように対応しております。事業を開始してから1年たっておりませんが楽しい行事をスタッフ・利用者様と考えております  
飾りつけなども職員がするのではなく、利用者様も一緒にされるようにしています。しかしそれが強制ではなく利用者様のペースにあわせております  
また最勝寺内科医院の協力もあり夜間など急変など24時間体制で対応させてもらっていますので健康面でも家族様が安心していただけるのではないかとおもいます

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

田園地帯でのんびりとした環境の宅地造成地に民家に混じって建設された建物である。かつてグループホームと通所介護を営まれていた建物を現在の経営者が購入され、2009年1月1日に、グループホーム 輝 を開設されている。社会福祉協議会のサービス事業の利用者の入居が大半を占めており、家族の面会の頻度も高く、これまでの生活の延長線上の環境が保持されたホームである。ホーム周辺の空き地を開墾しながら畑作りをされ、利用者にとって慣れた畑仕事は気分転換や自信の回復、収穫の喜びなど相乗効果が高く、利用者が育てた野菜が食卓に彩を添えるなど家庭的な環境の提供を目指されている。また、母体が病院ということもあり本人や家族にとって医療面での安心の期待も高く、職員もそのことを自負したサービスの提供に努められている。

## ・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに 印	項目		取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と
		2. 利用者の2/3くらいの			2. 家族の2/3くらいと
		3. 利用者の1/3くらいの			3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない			4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように
		2. 数日に1回程度ある			2. 数日に1回程度
		3. たまにある			3. たまに
		4. ほとんどない			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 少しずつ増えている
		3. 利用者の1/3くらいが			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない			4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 職員の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が
		2. 利用者の2/3くらいが			2. 家族等の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが			3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない			4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が			
		2. 利用者の2/3くらいが			
		3. 利用者の1/3くらいが			
		4. ほとんどいない			

# 自己評価および外部評価結果

(セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の申し送りが終えたところで理念を復唱しています	基本理念として「家庭的な環境の中、入居者のペースで生活する」「自由と尊厳と喜びのある生活を送っていただけるように継続的に自立支援を行う」を掲げられているが、事業所として年間目標を考えることで理念の具現化を図りたい意向を持たれている。	当面の目標を全職員で話し合いをされ、理念の具現化に向けた取り組みに期待したい。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会への加入を試みるが加入すれば、町内会で敬老会などで町内会での財源確保できないので加入はむずかしいとの事。しかし町の行事など運営推進会議にて確認し参加してよいという話になっています。10月24日には町の文化祭へ参加予定です	入居者の殆どが地元の方で、町の文化祭や町内清掃などは馴染みの地域行事であり、職員と一緒に参加されるなど地域とのつながりを断ち切らない支援につなげられている。また、近くの保育園児とも行事を通じた交流をされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	1月に始めたため今現在は実習や研修などが無い。しかし今後のためにはそのための個人情報同意書など用意しています。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は現在2ヶ月に1回行っています。今回初めての外部評価のため課題など話合っていないが、今後の課題を運営推進会議にて報告して行こうと考えています	地区長が民生委員長をされているのは事業所にとって心強く、いろんなアドバイスが期待される。会議進行は事業所と参加メンバーの質疑応答が主流である。家族の参加は、仕事を理由の欠席が多く、如何に参加していただくかが課題である。	地域のニーズと事業所の多機能性を接点に共に取り組むことにも着目した運営推進会議運営で参加者との距離が近づくことに期待したい。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	鹿町町介護課の担当の方には開設当時からお世話になっており運営する上での相談など行っています。運営推進会議にも参加していただいております。鹿町町の条件に入居者や待機者の報告があるためその都度報告しております	町の介護担当職員とは、立ち上げ時の書類の整備にもアドバイスを頂き、現在も引き続き入居に関する情報などの提供を受けている。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	現在夜間のみ入り口を施錠しています。身体拘束している方は現在いません。入り口のドアは開ける度にセンサーが反応しチャイムと光を放ち知らせます。現在は不穏行動や落ち着きないときはスタッフ間で警戒しつつ、椅子に座らせるのではなく、一緒に散歩するなど対応しています。迎農機具さんがよく知らせていただくことがあります。洗濯物が倒れるなど	玄関のドアの施錠は昼間はされておらず、利用者の不穏の状態を窺い同調した行動をとるなど身体拘束をしないケアに努められている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の研修に参加したいと思っています。職員の要望や希望は聞きできるだけ職員へのストレス軽減を考えてます。また職員の入居者への態度や言葉かけなど随時見えています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在は成年後見制度を利用するかたはいませんが、今後は利用する方がいる場合があるためすぐに職員に成年後見制度を理解してもらおうと思います		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者の不利益につながる取り決めをせず事業所で、できる事・できない事を明確にして説明している 契約解除の際は話し合いをし解除に至っている		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見・苦情など相談箱を設けるが現在は投函がない。家族の方が面会時は各職員が家族様へ挨拶をする中で意見などでる場合、申し送りなどで話し合い速やかに対応し改善していく。家族の方が忙しく運営推進会議に参加することがないため、3ヶ月ほど前から手紙を出して家族様へ今後はお知らせしようと思います	家族面会の頻度は高く、面会時等に気付きや意見など気軽に伝えられており、内容は申し送りなどで全職員に伝達し対応につなげられている。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り・それ以外の時間に職員からの意見を聞き考慮した結果運営に取り入れたりしている 管理者も業務にはいるため輝スタッフ全員で運営を考えています	職員の要望は直ぐに経営者へ伝えられている。経営者も行事や月1回の会議には参加されており、ホームへもよく顔を出されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	現在整備を勤めてるようにしています。県からの研修など開示して募集を募るなどしております。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	佐世保グループホーム協議会や社協による研修をうけるように促しております。今後も研修がありしだい質の向上のためトレーニングしていくことを進めていこうと思っております		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	佐世保グループホーム協議会に参加することでネットワークづくりや勉強会など参加させていただいております。今後も参加していこうと考えております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自宅に伺いどのような生活をされているか入居に際して不安な事・要望を本人、家族から聞き入居前は自由に施設内を見学していただくようにしている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族から入居にあたり基本情報を聞く際要望を会話をすることで理解している又は面会時には必ず話すようにしている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	できることはすぐに実行するように心がけています。できないことに対して十分考えて計画を考えて行こうと思っております		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に畑を作り収穫・食材に出し共通の話題になっている		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には現状を伝えている 行司には家族へ参加を伝えています		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や親族の方が自由に来て頂けるよう声かけしている。1~2ヶ月ごとに神父様の訪問もある しばらく来られてない家族様には電話するなどしています	帰宅願望のある利用者が自分の家方向に歩いているのを、本人を知っている方が車で通りすがりに声を掛けて、本人が伝える場所に連れて行かれたら「本家」であり、本家の方がホームに直接電話されて迎えに行かれた。本人はお仏壇に手を合わせ機嫌よくホームに帰られた経緯もあり、その後も時々職員と共に本家の仏壇にお参りされている。他に、命日やお墓参りの支援もされている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共用空間にソファを設置又は近くに食堂テーブルがあり好まれる場所に座れるようにしています。職員は気配り、話し相手をする等の対応をしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	地域の密着のため地域の行事に参加する事で会うことがあり関係性を保っています。しかしこちらから電話をするなど連絡をとっていません		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・家族へこれから生活していく中での希望、要望を聞き又生活歴から身につけている楽しみ等を認識する 困難な場合は精神・身体状況から思いを汲み取っています	本人の趣味や特技を把握されており、編み物や折り紙、畑仕事など本人の希望に沿った支援をされている。また、表情や行動など観察を通して本人の状態や移行を把握されている。ドライブ中に本音を話されることもあり本人の意外な一面を知ること稀にある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までどのように生活又は習慣等を大切に続けていけるように介護計画に取り入れています		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日の過ごし方は日々の日誌に記載しています できていたことは日課にし職員と共にしている事からできることをアセスメントしている		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングは職員間で話し合いながら作成しています。介護計画は現状に合わせて計画を立てております	月1回モニタリングをしている。担当制を取り入れ職員全体の気付きや意見を計画の見直しに取り入れている。プラン実績シートを作成されている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画から支援プラン・モニタリングを職員間で話し合い共有している		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様・家族から相談などあればすぐに管理者へ報告し相談しながら対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内行事に参加しています。 たとえば幼稚園の運動会に参加したい際民生委員さんと一緒に競技にできるなど協働しております		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族様がかかりつけ医への受診の際は連絡ノートを作成し現状を伝えていきます。 町内へのかかりつけ医への受診は管理者がかかりつけ医へ状況報告をしています	かかりつけ病院の受診支援をしているが、町外の病院へは家族の協力を得られている。 家族が連れて行く時は、連絡ノートを作成しており、医師との連携を保たれている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者・計画作成担当者は看護資格を有している 介護職は利用者さまの身体状況の変化をすぐに管理者及び計画作成担当者へ報告しています		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	家族へ入院の状態など電話などで状態を聞くなど行いました。退院後の注意点などサマリーなどから把握するなどしています。 医療機関と三位一体となって退院計画を具体的に立案などできていません		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所前の契約時に看取りについて説明していますが、その後の状態などで家族様に説明しております。しかし地域の関係者とチームとして支援できていないため今後の運営推進会議で話し合いたいと思います	経営者である病院医師が、入院や医療が必要になったときは判断されている。本人の状態の変化に応じて家族への説明はされている。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルありますが、定期的な訓練は行っておりません。今後ケア会議などのときに行いたいと思います		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成し職員に目を通してもらっていますが実践とした訓練までできていません。	今年の大雨の時、近くの川が増水し溢れた経験を基に自然災害時の整備として段差の解除も検討されている。火災時の避難場所はホーム隣接の空き地を予定されている。	利用者も含めた訓練の実施とシュミレーションを駆使した研修の取り組みに期待される。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	十分に気をつけて言葉遣いに注意しています。しかしその中で対応できていないときはその都度職員を注意しています	難聴や理解力の差があるため、個別性を重視した対応に努められている。本人はもとより周囲にも配慮した対応を心がけられている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるような直接的な支援を行えていなかったため、今後担当職員が個別に働きかけていこうと思います		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の流れがありますが入浴は毎時確認しています。午前・午後はいらないようであれば夕食後など本人様にきめて頂いています		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自立したから多いため大半のかたは自己でおしゃれなど洋服を選んでいる。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配茶・テーブルふき・ご飯をつく・片付けなど手伝っております。また入居者様と話す中で食べたいものがあればおやつなどに取り入れたりしています	食事に関する一連の作業を、入居者の個別性に合わせた下ごしらえや準備、片付けなどを担当することで、役割がやりがいに通じていくような支援をされている。畑の収穫物が食卓に提供されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日誌には毎日の食事・水分量を記載して確認しております。栄養状態は体重と月に一度かかりつけの病院での採血データ(TP・ALb)から判断しております		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は口腔ケアを促して行っております。その人にあわせた対応をさせてもらっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	毎日の申し送りなどで話し合いながら自立にむけた支援を考えております	殆どの入居者は見守りや誘導程度で自分で行かれている。歩行が不安定な方も付き添う程度で自力でトイレに行くような支援をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々のことも考えています。現在は十分な水分量・運動を考えて毎朝ラジオ体操をするなど行っております		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々にそった対応をしております	見守りが必要な入居者は4人くらいで、嫌がっていても他の入居者が入るのを見て入るようになられる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午睡などは2時間ほどを考えていますが長くなると昼夜逆転しますので3時のおやつにはおきてもらうなど対応しています		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各入居者のカルテに内服中の処方プリントなどはさめておりいつでも目を通せるようにしています。新しい薬が出た場合は副作用を申し送りで伝えるようにしています		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	気分転換・楽しみごとなど支援していますが本人様のペースですしておりますので毎日の日課になるほどなどではありません		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物などいとき入居者様に声をかけるなどしてドライブをしたり本人様の希望があれば家族様と相談をして対応してまいります。	入居者がドライブを希望されることが多く、買い物以外に希望があれば気分転換を含めたドライブに連れて行く。そんなときに本人の本音が出ることもあり、自宅への外出も家族と連絡を取り合いながら希望に沿う支援をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	委任状を用意しており受診の際の支払いなどを行っています。認知症があるため金銭自己管理はむずかしく誇大妄想もあるため家族様と相談し利用者様がお金をもつことがないようにしています。しかし1人の入居者様が支払いなども自己管理しております		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望時に対応しています 手紙のやりとりなど現状ないが希望あれば対応します 現状は地域密着で家族の方も近くにいるため手紙はほとんどありません		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に日付けがわかる様に手作りカレンダーを作成し行事の写真をかざるなど思い出や季節感をだしています。 押し車や車イスのかたが通れるようなスペースを用意しております	壁に手作りカレンダーや地域へ参加した行事の写真などが貼ってある。対面式のシステムキッチンでリビングは食卓と寛ぎのスペースにコーナー分けされており、利用者の動線を意識した家具の配置がされている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お気に入りの場所にイスを配置しています。多目的ホールの畳の部分で午睡する入居者様のためカーペットと枕を用意するなど過ごしやすい環境を提供できていると思っております		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際なじみのあるものを持ち込んでもらえるように伝えています。仏壇・枕・位牌・神台・食器・布団など	居室は広く、置にした部屋もある。使い慣れた寝具や位牌、仏壇など持ち込まれており個性がある居心地の良い部屋に工夫されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入浴は本人様が好きなときに入って好きな時間利用できるようにしています。転倒の危険がある方は手の届く距離で見守りしています。ADL維持のために本人様の残存機能を利用し介護しております。すべてをするのではなくあくまでも私たちは手助けをするだけと考えています		